

## めざす学校の姿

- (1) 「やる気・本気・元気」のある児童生徒に
- (2) 児童生徒にしっかりと向き合い寄り添う教職員に
- (3) 安全・安心の学校づくりと保護者や地域に信頼される学校に

## 児童生徒に自信をもたせる

### 1 学校の教育目標

自ら学び 心豊かで 心身ともにたくましい児童生徒の育成

### 2 学校経営の基本方針

- 人間尊重の精神を基調に、児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、それぞれの可能性を最大限に伸ばすための適切な指導や支援を行う。
- チーム学校の考え方を基本とし、組織として能力を最大限に発揮するために、校務分掌組織に基づく協業と分担を整え、全職員が一体となった教育活動を推進する。
- 「開かれた学校」として、地域の実情や実態、児童生徒の実態や課題等をふまえ、家庭(実親・里親)や地域社会との連携を図る。特に今年度より、「銀鏡地区地域学校協働本部」を立ち上げ、「山がっこ銀上事務局」にコーディネーターを依頼し、社会に開かれた教育課程の充実を目指し、実践をしていく。

### 3 学校経営ビジョン

「西都銀上学園」ならではの小中一貫の教育活動を通して、「やる気」をもって学習活動に取り組み、「本気」になって、自分の将来を考え、思いやりや感謝の気持ちをもって物事に取り組み、「元気」に毎日を過ごせる心と体をもつ児童生徒の育成をめざす。

### 4 重点目標と目標達成のための手段

#### (1) 「西都銀上学園」ならではの小中一貫の教育活動を通して

小学校職員と中学校職員の有機的かつ機能的な連携協力と、相互乗り入れによるより効果的な教科運営をとおして、児童生徒に「やる気」「本気」「元気」を植え付け、自信をもって生活していく基盤を作る。

#### (2) 「やる気」をもって学習活動に取り組む児童生徒の育成

～基礎学力の確実な定着と学力向上

ア 児童生徒一人一人の学習状況と特性を把握し、個に応じた学習指導の工夫・改善を図る。

イ 学力向上を目指して、授業力の向上を常に追求する。

- ウ 発達段階に応じた少人数指導の充実と家庭学習の習慣化を図る。
- エ 児童生徒の意欲を引き出す学習環境の充実と読書活動の推進を図る。
- (3) 「本気」になって物事に取り組む児童生徒の育成  
～基本的生活習慣の定着と豊かな心の育成
- ア 「あたりまえのこと3カ条（あいさつ・返事・整理整頓）」を中心に基本的な生活習慣の確立を図る。
- イ 将来のことを考えるとともに思いやりや感謝の気持ちを育て、教師と児童生徒あるいは児童生徒相互の温かい人間関係を醸成する。
- ウ 伝統文化や地域素材を取り入れた体験的学習や奉仕的活動を推進し、豊かな心を育成する。
- (4) 「元気」に活動する児童生徒の育成～健康・安全教育の推進と体力の向上
- ア 生活リズムを整えさせ（早寝、早起き、朝ごはんの推進）、児童生徒一人一人の健康維持に努める。
- イ 食に関する指導の充実と心身の健康維持に向けた取組に努める。
- ウ 安全教育の充実を図り、校内及び校外での事故防止に努める。
- (5) 「開かれた学校づくり」小中一貫教育の推進と家庭・地域との連携の充実
- ア 施設一体型の特色を生かした学習指導や生徒指導における小中連携について共通理解、共同実践を図るとともに、教師の指導力向上のために校内研修を充実させる。
- イ 保護者・地域に向けた学校のさまざまな教育活動の情報を発信する。
- ウ 山村留学実行委員会との連携・協力体制を確立する。
- エ 銀鏡地区地域学校協働本部を立ち上げ、充実を図る。

これらを実現するために

**【目指す教師像】**

「西都を愛し 専門的力量と見識を備えた 信頼される教職員」

**【具体的な姿】**

- 教育公務員としての自覚と誇りを持ち、コンプライアンス意識を身につけた教職員。
- 教職員評価を生かし、教えるプロとしての教師像を追究。
- 児童生徒に向き合い、授業力向上と積極的な生徒指導に臨む教職員。
- 組織人としての自覚を持ち、風通しの良い職場環境をつくる。